



12年生木の剪定（普通栽培）

◆主枝を4本から2本に絞り込み、各主枝に亜主枝候補枝を設定します。

〈主枝等の剪定〉

- ◆残す主枝の剪定は亜主枝候補枝を決め、そこへ光が入るように邪魔な枝を見極め、切り落としていきます。
- ◆切断候補の主枝は枝元の枝を切り払い、枝を先端に追い出し、いつでも切り落とせるようにします。
- ◆太さや長さが同じような枝は、近くに配置ないようにします。
- ◆来年、再来年の状態を予測しながら剪定します。

〈成り枝の剪定〉

- ◆枝の先端から見て枝元の大きな枝などを切り、その後小さな枝を切っていきます。
- ◆切り口から出た枝は、弱小芽になりやすいので切ります。
- ◆腹芽は「つる割れしやすい」「着色しにくい」りんごになるので切ります。
- ◆立ち枝は基本的に切り落とすのですが、一度りんごを収穫して来年切る方法もあります。

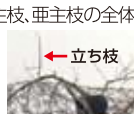
ここは押さえて その1 「果台枝」について

- ◆果台あがりの枝は質の良いりんごが実ります。



ここは押さえて その2 「立ち枝」について

- ◆立ち枝には大玉りんごが実り、主枝、亜主枝の全体に水を供給する役目もあります。
- ◆立ち枝は1年～2年使用したら別の立ち枝に交換しましょう。



剪定前



剪定後



30年生木の剪定（普通栽培）

◆主枝、亜主枝などの骨格を維持するため、枝量が過多にならないよう調整します。

〈大枝の剪定〉

- ◆細かい枝を取り払い、枝を切りやすくします。
- ◆枝元に負担をかけないよう、先端部分から少しずつ切断します。

ここで注意!! 切り口を保護するために塗布剤をその日のうちに塗るようにします。

〈成り枝群（ブロック）の剪定〉

- ◆亜主枝から新しい枝が伸びるスペースを確保します。
- ◆枝が密集している場合、昨年状況を見極め、絡んでいる枝を外します。
- ◆収穫時に、はしごを配置するスペースも考えながら剪定します。
- ◆優先順位の高い枝に邪魔する枝を切っていきます。
- ◆光や養分の流れのイメージをしっかりとって剪定します。

〈成り枝の剪定〉

◆6年生木や12年生木と同じように枝の先端から見て剪定していきます。



剪定前



剪定後